

アルミ輸出は地金 スクラップも増加

圧延品生産増加、二次合金生産微増

橋本健一郎氏リポート①



橋本健一郎氏

二月前半は、ロンドンの著名商品アナリストが中国の主要な産業である自動車、建設業の業績は昨年よりも大幅に減速する見通しと語ったこと、米週間新規失業保険申請件数は二三四万件に減少、予想の二四・九万件を下回るなどのマイナス材料もあつたが、一月の中国CPIは前月比一・一%上昇、予想は〇・七%上昇。前年比は二・五%上昇、予想は二・四%上昇、二〇一四年五月以来の上昇率。一月の中国PPIは前月比〇・八%上昇、前月比は六・九%上昇、予想は六・三%上昇、二〇一二年八月以来の上昇率。一月の中国新規人民元建て融資は二兆元、予想は二・三兆元。新規社会融資総量は三・七兆元に急増など好感しLMEアルミ相場はUP、一月十五日時点一、八七八ドル(現物後場買い)と月初価格から七九ドルUPの前半締めとなつた。後半は中国商務省が十六日に発表した一月の対外直接投資額が前年比で大幅に減少。中国当局が資本流出規制を強化し、海外不動産投資が急減したことなどのマイナス材料もあつたが、中国政府が今年内に環境対策上、アルミ新地金生産の三〇%をカットすることを発表。具体的には冬季(十一月一日〜三月一日)の四カ月間はアルミ、アルミニウム、カーボンの生産が制限されることとなり、新地金の生産能力にして三〇〇万トンを超える見通しとの報を好感しLMEアルミ相場はUP、三月二日現在でLMEアルミ相場(現物後場)は一、九四三ドルと後半スタート価格から四五ドルUPしてのスタートとなつた。

金が一・五%増の一、五八四t、スクラップが二六%増の六、一八四t、アルミ缶が一・〇・二%増の五、五七四t。

輸入

輸入は新地金が前年比一・九・七%増の二二万一、八四・七t、二次合金が一・八・五%増の一〇万七、七三・七t、スクラップが一・五・三%減の六〇四t、合金スクラップは五・九%減の三、八四九t。

前月の国内指標

日本アルミワム協会発表の圧延品の生産・出荷動向によれば、板類・押出生産合計は前年比二・八%増の一五万三、六六七t。

日本アルミワム合金協会発表のアルミニウム二次合金・同合金地金等生産実績は、前年比〇%増の六万三、八四九tであつた。

概況

【自動車生産】

一月の四輪車生産台数は七六万一、一三〇台で、前年同月比三・八%増となり四カ月連続で前年同月を上回つた。

輸出は三二万六、二五五台で前年同月比五・八%の減少。

【自動車販売】

二月の国内自動車販売台数(軽は除く)は三二万二、〇三五台で前年比一三・四%増と、七カ月連続プラス。

うち乗用車一四・四%増、貨物六・九%増、バス三・五%増。

【住宅着工数】

平成二十九年一月の住宅着工戸数は七万六、四九二戸で、前年同月比で二・八%増となつた。また、季節調整済年率換算値では一〇・一万户(前月比八・四%増)となつた。

住宅着工の動向については、前年同月比で七カ月連続の増加となつており、利用関係別にみると、前年同月比で持家は減、貸家、分譲住宅は増となつた。

引き続き、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

(持家)

前年同月比では一二月ぶりの減少(前年同月比〇・二%減、季節調整済の前月比では〇・六%減)。

(貸家)

前年同月比では一五カ月連続の増加(前年同月比一二・〇%増、季節調整済の前月比では九・八%増)。(六面へ続く)

◆自動車生産台数

日本自動車工業会によると自動車生産台数は前年比三・八%増の七六万一、一三〇台であつた。

◆自動車販売台数

日本自動車販売協会連合会によると、自動車販売台数(軽除く)は前年比一三・四%増の三二万二、〇三五台。

◆新設住宅着工戸数

国土交通省統計によると、新設住宅着工戸数は前年比一二・八%増の七万六、四九二戸であつた。

◆貿易関連指標

輸出

財務省貿易統計によれば、輸出はアルミ新地金が前年比二六・八%増の三四六t、二次合